

令和7年度 出前授業

## 「ファシリテーション・ボール・メソッド」

今年も FBM 研究会代表、河野健三先生が来て下さいました!!!!

身体を動かして、  
試行錯誤しながら学ぶ



ゆったりと床に寝転んだり、身体を思いのままに動かしたりすることは、大切な活動のひとつであると感じています。ファシリテーションボールを使った活動では、マットの上で寝転んだり、転がったり、這ったりすることを通して、子どもたちは自分の身体の動きをじっくり感じ取ることができます。

出前授業では、「こうやって動かしたら、身体はどうなるかな?」「ここまでいったら、バランス崩れるかな?」そんなことを、身体を動かす活動のなかで自然と考えながら身体を動かしています。ゴロゴロする活動のなかで、自分で身体を動かしてみる! 身体を動かすことの楽しさを体感してもらいたいと考えています ✨

体育が苦手な子どもにとっても、ファシリテーションボールは『失敗』という感覚を持ちにくいツールです。普段は「転ばないように」気を付けることが多いですが、ファシリテーションボールの上では、転ぶことや転がることも身体を使った大切な試行錯誤になります。バランスをとる体験の中で、どう動けば身体が安定するのかを自分自身の身体感覚を通して学んでいきます。これらは、運動するための基礎的な力になります。

出前授業後には、運動が苦手な児童・生徒からも「楽しかった」「もっと続けたい」という声が多く聞かれ、充実した時間であったことがうかがえました。

寝転んだり、転がったりしながら、身体を動かす活動の中で自分の身体の使い方(全身の協調運動)を自然に試行錯誤できる学習時間を取り入れていきたいと考えています。

